

市報

やまぐち

2025

12/1

December

No.469



特集	令和7年 山口市 主な出来事	2
特集	令和7年 私たちの地域の一大ニュース	4
	■令和6年度の人事行政の運営等の状況報告	6
	■市政トピックス	8
	■県央連携都市圏域の魅力を紹介「山口ゆめ回廊」	9
	■イベントカレンダー	10

1月の市報やまぐちは1日号と15日号の合併号として1月8日に発行します。

令和7年

山口市 主な出来事

1月 ■中国名鉄運輸株式会社と新事業所建設協定を締結(24日) ■第13回やまぐち新進アーティスト大賞を吉田朱里さんに贈呈(31日)

2月 ■「第2回やまぐち伝統芸能フェスinYCAM」の開催(8日) ■公用車のカーシェアリングを拡充(1日) 【写真1】 ■第30回中原中也賞を高村而葉(しやう)さんに決定(15日)

3月 ■山口市美術展覧会の大賞を小田伸次郎さんに贈呈(2日) ■株式会社ポーラと包括連携協定を締結(7日) ■総合警備保障株式会社と災害時における避難所等の安全確保に関する協定を締結(19日) ■湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」開館10周年(22日)

4月 ■「地域活性化起業人」として株式会社JTBから眞田直也さん、中森農産株式会社から中田紘平さんが着任(1日) ■グループタクシー利用券の年齢・距離要件の緩和(1日) ■「地域の担い手確保促進特別交付金」の創設(1日) ■新山口駅周辺での出店に係る支援事業補助金の創設(1日) ■国土交通省が「一般国道9号 木戸山峠道路改修」の新規事業化を発表(1日) ■道の駅「仁保の郷」朝市広場リニューアルオープン(11日) ■山口県土地家屋調査士会と災害時における支援協力に関する協定を締結(14日) ■山口市地域おこし協力隊(テーマ:徳地地域の振興作物等の情報発信、栽培技術の習得)として、宇野貴之さん・世良舞奈さんが着任(15日) ■アリババ株式会社が運用する地域情報ポータルサイト「RURUBU&ALLWAY JAPAN」を活用した観光情報の発信開始(18日) ■鑄銭司郷土館展示リニューアルオープン(19日) ■重源



【写真1】公用車のカーシェアリングを拡充(山口中央郵便局 駐車場)



【写真2】リニューアルオープンした重源の郷体験交流公園

今年、新市誕生から20年の節目を迎え、市民サービスの拠点となる新本庁舎棟の開庁、市民と観光客の交流拠点となる湯田温泉こんこんパークの供用開始等、これまで進めてきた新市のまちづくりが、まちの変化として感じられるようになった一年となりました。皆さんにとって、今年はどうな一年だったでしょうか。写真と共に主な出来事を振り返ります。

☎ 広報広聴課 ☎ 083・9334・2753

7月 山口市観光アンバサダーに委嘱(27日) ■令和6年観光客動態調査公表、観光客数がコロナ禍前を上回る(27日)

7月 ■デジタル分野の専門人材として、NTT西日本株式会社から藏重毅さんが着任(1日) ■韓国・公州市親善交流訪問団の受け入れ(4~6日) ■山口県農業試験場跡地利用基本計画を策定(15日) ■山口祇園祭「市民総踊り」に過去最多の1700人が参加(24日) 【写真4】

8月 ■山口市地域おこし協力隊(テーマ:住んでよし・訪れてよしの湯田温泉のまちづくりを担う)として、桑折(こおり)さん・理絵さんが着任(1日) ■令和7年度全国高等学校総合体育大会バドミントン競技の開催(4~9日) ■山口七夕ちようちんまつりに約15万人が訪れる(6~7日) ■令和7年度全国高等学校総合体育大会水球競技の開催(17~20日) ■山口市・昌原市(韓国) 姉妹都市締結15周年記念訪問団の受け入れ(22~24日)

9月 ■「山口市移住サポートセンター」すむ住む相談所」を山口市役所本庁舎(山口総合支所)3階に開設(1日) ■放課後児童クラブ開所時間を延長(1日) ■山口市地域おこし協力隊(テーマ:仁保地域の農産加工技術の継承・発信)として、澤志保さんが着任(1日) ■ホノルル市公式訪問団・ホノルル山口県人会を迎えて、山口市・ホノルル市友好都市提携を締結(20日) 【写真5】 ■大内南小学校でハワイ料理の給食を提供(22日・26日)

10月 ■ふるさと納税を活用した文化財保護制度寄附募集開始(1日) ■山口市ふるさと大使の石川佳純さんを起用した観光プロモーションを開始(1日) ■「大内氏がわかる絵本五重塔のひみつ」を発売(1日) ■「山口デザインেশション



【写真4】山口祇園祭「市民総踊り」



【写真5】山口市・ホノルル市友好都市提携調印式

新本庁舎棟の完成 「書かない」・「待たない」窓口サービスの提供



▲「書かない」窓口サービス

新本庁舎棟の完成により、これまで分散していた環境・教育・消防などの部署を集約し、市民の皆さんの多様なニーズに迅速にお応えしています。

また、市民の利用が多い

窓口は、1・2階に集約し、番号発券機の設置やおくやみ窓口などでのオンライン予約を導入することで、待ち時間の短縮を図っています。合わせて、引越しの窓口等では、システムを使いながら、職員が来庁者と一緒に申請書の作成を行うことで、ワンストップで対応できる「書かない」・「待たない」窓口サービスを提供しています。

山口市誕生 20 周年



▲山口市誕生 20 周年記念式典

山口市誕生 20 周年記念式典では、本市の発展にご貢献いただいた方の表彰をはじめ、20 歳を迎える市民のリレーメッセージ等も披露されました。

また、新市誕生 20 周年を記念し、シリーズ累計発行 100 万部を越える『地球の歩き方 山口市』が発売されました。ご好評につき、本書は発売から 1 週間も経たず、重版が決定しました。



▲地球の歩き方 山口市

「山口デスティネーションキャンペーン」の プレキャンペーンがスタート



▲山口プレ DC スタートを記念した SL やまぐち号の出発式

JR グループと山口県、県内各市町が一体となって展開する国内最大級の観光キャンペーン「山口デスティネーションキャンペーン（令和 8 年 10 月～ 12 月開催）」のプレキャンペーンが、

本年 10 月から始まりました。10 月 22 日（水）には、湯田温泉こんこんパークで、全国の旅行関係者に山口の観光やグルメを体感してもらうイベントが開催される等、12 月末までの間、市内各地でさまざまな取り組みが展開されます。

の郷体験交流公園リニューアルオープン（24 日）【写真 2】

■山口市新本庁舎棟の供用開始、ワンストップで「書かない窓口」が本格スタート（7 日） ■山口市・パンプローナ市姉妹都市締結 45 周年記念訪問団をパンプローナ市に派遣（16～21 日） ■環境大臣認定された「桜郷銅山跡農村公園自然共生サイト」の認定証授与式（19 日） ■湯田温泉こんこんパーク落成記念式典（27 日）

■山口市役所旧本庁舎の閉庁式（1 日） ■公費負担による 5 歳児健康診査の開始（1 日） 【写真 3】 ■令和 7 年国勢調査山口市実施本部を設置（2 日） ■史跡周防鋳銭司跡における新たな銭種「貞観永宝」の特別公開を開始（3 日） ■第 12 回山口市景観賞表彰式（8 日） ■大阪・関西万博における市長トップセールスの実施（11 日） ■山口大学経済学部観光政策学科に所属する学生 10 人を



【写真 3】公費負担による 5 歳児健康診査を開始しました

キャンペーン」のプレキャンペーン開始に伴う、SL やまぐち号の出発式（1 日） ■マイナ救急開始（1 日） ■山口市誕生 20 周年記念式典（4 日） ■湯田温泉こんこんパークの来館者が 10 万人に到達（8 日） 【写真 6】 ■KDDI 株式会社と地域活性化起業人に関する協定を締結（8 日） ■新市誕生 20 周年記念事業「地球の歩き方 山口市」発売（9 日） ■周防鋳銭司設置 1200 年記念事業「周防鋳銭司 1200 フェス」の開催（11 日） ■山口市ずっと元氣 PFS プロジェクトに係る共同記者発表（17 日） ■新山口駅北地区第一種市街地再開発事業竣工式（18 日） ■山口市長選挙（26 日）

■山口県消防指令センターの共同運用開始（1 日） ■「地域活性化起業人」として KDDI 株式会社から中村映文さんが着任（1 日） ■済南市（中国）との友好都市提携 40 周年を記念し、青少年書道交流展を両市で開催（1 日）



【写真 6】湯田温泉こんこんパークの来館者が 10 万人に到達

大歳 第39回おとし夏まつりを開催

8月2日(土)、おとし夏まつりを開催しました。ステージ、総踊り、大抽選会など盛りだくさんのプログラムで大いに盛り上がりました。レノ丸もお祭りに駆けつけてくれました。



佐山 祝♪「わがまち佐山」誕生30周年

佐山地区のふるさとの歌「わがまち佐山」が、今年で誕生30周年を迎えました。運動会や地区のイベントなどで歌い継がれており、地域の方に広く親しまれています。



陶 陶小学校創立150周年

卒業生や在校生、地域の方々により、さまざまな記念事業が実施されました。ドローンによる写真撮影、記念式典の開催、祭りでの校歌斉唱、記念誌の作成など、地域が一体となって盛り上がっています。



小郡 第2回おごおり一直線まつり

新山口駅を中心に南北を一直線に結び、住民、学生、企業が連携して催しました。3,000人の来場で大いににぎわい、関係・滞留人口の拡大や地域の活性化につながる祭りとなりました。



すおうのじゅせんし 周防鑄銭司設置から1200年

古代日本の官営の銭貨鑄造機関であった周防鑄銭司が設置されてから1200年目を迎えました。10月11日(土)には周防鑄銭司1200フェスを開催し、大いに盛り上がりました。



秋穂 あいおえび祭り世界選手権大会

9月7日(日)、中道海水浴場で「第33回あいおえび祭り世界選手権大会」を開催しました。参加された1,200人の皆さんは会場に放たれた約12,000尾の車えびをゲットしようと奮闘しました。



名田島 名田島田園運動会を開催

名田島田園運動会は今年度から地域と小学校での合同開催となりました。～未来をかえよう!みんなの笑顔と情熱で～をスローガンに、地域一体となって取り組み、笑顔あふれる運動会となりました。



阿知須 大型複合遊具広場オープン

6月4日(水)、山口きらら博記念公園に中国地方最大級の大型複合遊具広場がオープンしました。年齢や障がいの有無にかかわらず多様な人が楽しめる広場で、多くの方が利用されています。



二島 防空壕跡を発掘

二島小学校の校舎裏にある防空壕跡を、二島中学校の生徒が地域の方とともに発掘調査しました。土で埋まっていた入り口を掘り起こし、崩れないように補強しました。



徳地 「重源の郷」リニューアルオープン

「重源の郷体験交流公園」が4月にリニューアルオープンしました。「花づくし・旨いものづくし・心づくし」をコンセプトに、徳地の魅力を提供します。



嘉川 しゅっぱぽ 20周年記念まつり

子育て親子の交流拠点である嘉川子ども館「しゅっぱぽ」は、今年、開設20周年を迎えました。7月6日(日)、記念まつりを開催し、多くの親子連れで大にぎわいでした。



阿東 嘉年クルミ収穫祭開催

耕作放棄地を活用し、8年前から進めてきた「嘉年クルミの里づくり」が実を結び、初の収穫祭を開催。企業との連携で「クルミのピクルス」として商品化も実現しました。



令和7年

私たちの地域の 一大ニュース



市内 21 地域から届いた、今年いちばんの話題を写真と共にご紹介します。

世代間の交流を促す活動、伝統行事の継承、施設の整備など、ふるさとを盛り上げようとする地域の力を感じるニュースがたくさんありました。

☎ 広報広聴課 ☎ 083-934-2753

小鯖 小鯖地域複合拠点施設設置に向けて

小鯖地域複合拠点施設設置検討委員会において小鯖地域交流センターを中心とした日常生活に必要な機能の強化・複合化を検討しました。また、設置に関する要望書を市に提出し、意見交換を行いました。



大殿 6年ぶりの大運動会

コロナ禍で4回、雨で2回中止となった地区大運動会が5月11日(日)、6年ぶりに盛大に開催されました。久しぶりの運動会とあって大勢の参加者は楽しく一日を過ごしました。



大内 大内地区子ども会が全国表彰を受賞

長年にわたる活動が評価され、県表彰に続き、全国子ども会連合会より団体表彰を受賞しました。引き続きジュニアリーダーを中心とした活動をしてまいります。



白石 防災実動訓練を実施

3月9日(日)、市と合同で、地震を想定した防災実動訓練を実施しました。安否確認や避難情報伝達訓練、能登半島地震の活動の講話等により、防災意識が高まりました。



宮野 第74回宮野地区大運動会を開催

幅広い世代で参加しやすい競技種目にリニューアルし、7年ぶりの開催で大変盛り上がりしました。各町内会で一致団結し、世代間交流を通して地域の絆がより深まりました。



湯田 第36回湯田ふるさとまつりの開催

10月19日(日)、毎年恒例の湯田ふるさとまつりを今年オープンした湯田温泉こんこんパークにメイン会場を移して開催しました。秋の一日、約4,000人の皆さんが大いに交流を深めました。



吉敷 祭りの野外ステージを新調

長年、祭りで使用していた野外ステージを新しくし、8月13日(水)の夏まつりで初披露しました。新しいステージに、全員が新鮮な気持ちでまつりを楽しみました。



仁保 道の駅「仁保の郷」大規模改修工事中

一部の売場等の工事が完了し、4月には朝市広場が、8月末にはレストランがオープンしました。工事は着実に進んでおり、令和8年4月の全面オープンが待ち望まれます。



平川 ひらかわ大ラジオ体操を開催

8月24日(日)に山口大学にて、平川地域の方々が集い《みんなあつまれ!ひらかわ大ラジオ体操》が催されました。総勢300人の皆さんが参加され、すがすがしい朝を迎えることができました。



③ -2 職員給与費の状況（特殊勤務手当・時間外勤務手当）

区分	内容	
特殊 勤務手当	支給総額	79,688千円
	支給対象職員1人当たり平均支給年額	123千円
	職員全体に占める手当支給職員の割合	42.1%
	※税務事務従事手当、環境衛生業務手当、福祉事務手当など18種類があります。	
時間外 勤務手当	支給総額	508,098千円
	職員1人当たり平均支給年額	329千円

④ 一般行政職のラスパイレース指数※の状況

2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
99.9	99.6	99.7	99.9	99.4

※ラスパイレース指数は、国家公務員の給与水準を100とした場合の給与水準です。

（4）職員の休業に関する状況

休業制度については、育児休業および自己啓発等休業、配偶者同行休業などを設けており、それぞれの取得状況については右表のとおりです。

〈主な休業の取得状況〉

休業種類	取得者数
育児休業	101
育児部分休業	40
自己啓発等休業	0
配偶者同行休業	0

（5）職員の勤務時間その他の勤務条件の状況

① 勤務時間等について

区分	内容
勤務時間	8時30分～17時15分
休憩時間	12時～13時（1時間）
週休日	土・日曜
休日	「国民の祝日に関する法律」に規定する休日と年末年始（12月29日から翌年の1月3日まで）

※交代制勤務の職場などは、上記と異なる場合があります。

② 休暇制度等について

区分	内容
年次有給休暇	1年につき20日間を付与。新規採用職員は15日間を付与
病気休暇	負傷や疾病のため療養する必要がある、勤務しないことがやむを得ないと認められる場合の休暇。公務による負傷・疾病、結核性疾患に該当する場合は1年、私傷病に該当する場合は90日を与えることができます。※会計年度任用職員は最大10日
特別休暇	結婚、出産、忌引など、特別の理由により勤務しないことが相当である場合の休暇

（6）職員の分限・懲戒処分の状況

「分限処分」は、公務の能率の維持を目的とした処分、「懲戒処分」は、職員が一定の義務違反を行った場合に責任を問うための制裁的処分です。

① 分限処分者数

（単位：人）

処分	人数	具体的事由
免職	0	
降任	0	
休職	19	心身の故障のため
降級	0	
合計	19	

② 懲戒処分者数

（単位：人）

処分	一般服務違反等関係	道路交通法違反	合計
免職	0	0	0
停職	0	0	0
減給	0	0	0
戒告	0	2	2
合計	0	2	2

※公務外の行為に対する処分を含む。

（7）職員のサービスの状況

地方公務員法の規定により、次のような職務上の義務があります。

- ・法令等および上司の職務上の命令に従う義務
- ・信用失墜行為の禁止
- ・秘密を守る義務
- ・職務に専念する義務
- ・政治的行為の制限
- ・争議行為等の禁止
- ・営利企業等への従事制限

（8）職員研修と勤務成績の評定の状況

① 職員研修について

地方分権の進展による新たな業務に対応し、住民サービスを向上させるため、職員が個々の能力を一層高める必要があります。

区分	内容	受講者数
一般研修	一般職員や係長級などの各階層で要求される能力を習得するため、全職員対象に実施した研修	延べ302人 （9コース）
特別研修	政策形成研修、接遇研修など、広く市政全般に目を向けて実施した研修	延べ1,620人 （16コース）
派遣研修	高度な専門知識の習得、組織を支える専門家「スペシャリスト」の育成などを重視し派遣した研修	延べ59人 （53コース）

② 人事評価システムについて

平成23年度から本格実施しており、評価結果を配置、昇任、昇給等に活用しています。これらの取り組みにより、職員全員の意欲と能力を最大限に引き出し、活用することで、公務の効果的・効率的な運営を図ります。

（9）職員の福祉と利益の保護の状況

① 安全衛生管理体制の状況

「労働安全衛生法」「市職員健康管理規程」等の規定に基づき、安全衛生委員会と衛生委員会を設置し、快適な作業環境の整備、職員の安全と健康の確保などの労働安全衛生管理に努めています。また、毎月1～2回、産業医による健康相談、臨床心理士によるメンタルヘルス相談事業を実施しています。

② 福利厚生事業の状況

「地方公務員法」の規定に基づき、職員の元気回復のための事業等を計画的に実施するため「山口市等職員共済会（会員数1,812人）」を設置しています。毎月の職員の会費（給料の1,000分の2、計約1,424万円）を財源に各種給付事業を、市等からの交付金（約248万円）を財源に健康管理等を行っています。

③ 公務災害補償の状況

加入団体	公務災害	通勤災害	計
地方公務員災害補償基金山口県支部	9件	2件	11件

（10）公平委員会の業務の状況

① 勤務条件に関する措置の要求の状況

実績なし

② 不利益処分に関する審査請求の状況

実績なし

令和6年度の人事行政の運営等の状況報告

(1) 職員の任免と職員数に関する状況

① 採用・退職者数

(単位:人) 参考

時点	行政事務等	土木	保健師	保育士・幼稚園教諭	消防	文化財主事	建築	環境衛生整備員	給食調理員	社会福祉士	その他*1	合計	再任用職員
5年度退職者数	22	2	2	4	3	0	2	1	3	0	0	39	22
6年度採用者数	31	4	3	3	4	0	0	1	3	2	0	51	4
増減数	9	2	1	▲1	1	0	▲2	0	0	2	0	12	▲18

② 職員数

(単位:人) 参考

時点	行政事務等	土木	保健師	保育士・幼稚園教諭	消防	文化財主事	建築	環境衛生整備員	給食調理員	社会福祉士	その他*1	合計	再任用職員	会計年度任用職員*2
令和5年4月1日	899	135	53	137	240	8	28	73	77	9	25	1,684	130	1,229
令和6年4月1日	908	137	54	136	241	8	26	73	77	11	25	1,696	112	1,361
増減数	9	2	1	▲1	1	0	▲2	0	0	2	0	12	▲18	132

*1 介護福祉士、電気、水質管理等の職種 / *2 会計年度任用職員制度は令和2年4月1日に開始された制度。職員数はパートタイム会計年度任用職員を含む

③ 障がい者雇用率

令和6年6月1日	2.92%
----------	-------

④ 令和6年度早期退職応募及び認定状況 (単位:人)

応募者数	7
認定者数	7

(2) 職員の競争試験と選考による採用状況 (令和6年度実施 令和7年4月1日採用)

(単位:人)

区分	競争試験					計
	大学卒業程度	短大卒業程度	高校卒業程度	中学卒業程度	社会人経験者	
行政職	23			8	5	36
技術職			1	1	2	4
技能職					7	7
専門職	4		5			9
消防				3		5
計	29		6	12	7	61

技術職…土木、文化財主事、建築、電気、水質管理等

技能職…環境衛生整備員、給食調理員

専門職…保健師、保育士・幼稚園教諭、社会福祉士、介護福祉士等

(3) 職員の給与状況

① 人件費の状況 (令和6年度普通会計決算)

住民基本台帳人口(令和7年3月31日現在)	歳出額(A)	実質収支額	人件費(B)	人件費率(B/A)
人	千円	千円	千円	%
184,585	107,239,725	731,497	16,531,675	15.4

*人件費には、特別職に支給する給料・報酬を含みます。

② 職員給与費の状況 (令和6年度普通会計決算)

職員数(A)	給与費				1人当たり給与費(B/A)
	給料	職員手当	期末手当勤労手当	給与費計(B)	
人	千円	千円	千円	千円	千円
1,543	6,067,864	1,284,280	2,581,069	9,933,213	6,438

*職員手当には、児童手当と退職手当は含みません。職員数は、令和6年4月1日現在の人数です。

③ -1 職員手当の状況

区分		山口市	国
期末手当 勤労手当 (6年度支給割合)	期末手当 勤労手当 職制上の段階、職務の級等による加算措置…有 () 内は、再任用職員に係る支給割合です。	2.5月分(1.4月分) 2.1月分(1.0月分)	同左
退職手当 (支給率)	勤続20年 勤続25年 勤続35年 最高限度額 【その他加算措置】 ・定年前早期退職特例措置	自己都合 19.6695月分 28.0395月分 39.7575月分 47.709月分 勸奨・定年 24.586875月分 33.27075月分 47.709月分 47.709月分	同左
扶養手当*1	配偶者 子 配偶者、子以外の扶養親族 満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子	6,500円 10,000円 6,500円 1人につき5,000円加算	6,500円*2 10,000円 6,500円*2 1人につき5,000円加算
住居手当*1	借家	3,000円～27,000円	借家(家賃16,000円を超えるもの)のみ 最高28,000円まで
通勤手当	交通機関支給限度 交通用具	65,000円 片道2～78kmを28区分し 3,500円～47,500円を支給	55,000円 片道2～60kmを13区分し 2,000円～31,600円を支給

*1 会計年度任用職員は対象外 / *2 行政職俸給表(一)8級職員は、3,500円



ウェブサイトでも公開中

KDDI株式会社との 地域活性化起業人に関する 協定を締結

デジタル技術の活用により、地域課題の解決や地域活性化の推進を図ることを目的とした、地域活性化起業人に関する協定を、10月8日（水）に本市とKDDI株式会社様との間で締結しました。

協定締結に伴い、地域活性化起業人の制度を活用し、11月1日から、KDDI株式会社の中村映文さんには、本市総合政策部公民連携推進室において、民間企業のノウハウや知見を活用し、DXを活用した公民連携、防災分野、観光分野の取り組み等を推進していただいています。



▲記念撮影をする市長（左）、中村映文さん（中）、KDDI株式会社の高木秀悟執行役員（右）

締結式で市長は「中村さんには専門的な技術や知識を生かしていただき、本市が抱える行政課題の解決や市民サービスの向上に共に取り組んでいただく。中村さんの活躍が、本市が目指す『ずっと元気な山口』の実現につながることを期待している」とあいさつしました。

KDDI株式会社の高木秀悟執行役員（ビジネス事業本部ビジネスイノベーション本部 本部長）は「デジタル技術に精通した専門人材を向かせることで、山口市の行政運営のデジタル化を推進するさまざまな施策において、山口市職員様と共に協力して改善策を実践していきたい」と述べられました。

公民連携推進室 ☎083・934・2728

株式会社エヌエフホールディングスから寄附金を受贈

株式会社エヌエフホールディングス様から、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）として、1000万円をご寄附いただき、10月14日（火）に寄附受領式を行いました。

今回のご寄附は、多様な人材の活

躍を推進するづくり、新しい時代の流れを力にする仕組みづくり、そして、SDGsの推進など、「便利で豊かな創造社会の構築事業」に活用してほしいとの希望をいただいています。



▲高橋代表取締役会長（右）から目録を受け取る市長（左）

株式会社エヌエフホールディングスの高橋常夫代表取締役会長は「山口市の発展に私たちの企業活動が一翼を担えればとの思いで寄附をさせていただいた」とあいさつされました。

寄附金の目録を受け取った市長は「昭和61年の企業進出協定締結以来、本市の活性化に寄与していただき、感謝申し上げます。ご寄附の趣旨のとおりにさまざまな分野の人材育成に活用させていただきたい」と感謝の意を述べ、感謝状を手渡しました。

公民連携推進室 ☎083・934・2728

山口市ずっと元気・PFS プロジェクトに係る共同 記者発表を開催

新たな公民連携の手法である「成果連動型民間委託契約（PFS）」を用いたプロジェクトとして、「山口市ずっと元気・PFSプロジェクト」を開始するにあたり、受託事業者である株式会社YMF G ZONE プラニング様、本取り組みにご賛同いただき、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）として、2000万円のご寄附をいただいた明治安田生命保険相互会社様と、10月17日（金）に共同記者発表を行いました。

本プロジェクトは、受託事業者と、ヘルスケアや生活関連産業などの市内事業者等が連携し、高齢者を対象とした魅力的なプログラムなどを提供すること、高齢者の社会参加の促進を図り、市内事業者の新サービスの創出等による、地域経済の活性化や高齢者のQOL（Quality of Life）の向上を目的とした実証事業です。

市長は「今年度から公民連携推進室を新設し、地域や企業、個人などのさまざまなチャレンジを支えるとともに、地域課題の解決と地域経済の活性化に向けて、企業や大学等とのさらなる連携強化を図っているところ。PFSという新たな手法により、5年間の実証事業を行うものであり、今後の成果に大いに期待して



▲記念撮影の様子

いる」とあいさつしました。
株式会社山口フイナンシャルグループの村田直輝執行役員 成長戦略事業本部長は「受託者として、地域金融グループが選定されるのは全国初であり、大変光栄である。プロジェクト成功には、山口市の思いに共感し、高齢者向けビジネスに積極的に取り組まれている事業者との連携が不可欠であり、積極的な参加を呼びかけていく」と述べられました。
明治安田生命保険相互会社の神田智尚執行役員 中国・四国地域リレーション本部長は「山口市と2020年に健康増進に関する連携協定を、Y M F G Z O N E プランニングとは2022年に地方創生に関する連携協定を締結し、山口市を盛り上げる取り組みを実施している。今回のプ



▲真庭選挙管理委員長（左）から
当選証書を付与される市長（右）

プロジェクトでは、約100名のMYリンクコーディネーターが地域の高齢者に対面での案内を予定している」と述べられました。
☎ 公民連携推進室 ☎ 083・934・2728

**山口市長選挙の当選証書
付与式を開催**

任期満了に伴う山口市長選挙が10月26日(日)に行われ、27日(月)には、当選証書付与式を開催しました。

山口市選挙管理委員会の真庭委員長は「ご当選、誠におめでとうございます。今後は、有権者に訴えられた公約実現のため、鋭意努力され、山口市政のさらなる発展に寄与されることをお願い申し上げます」とあいさつされました。
☎ 選挙管理委員会事務局 ☎ 083・934・2877



圏域の市町におでかけしよう！

※詳細は、各お問い合わせ先へご確認ください。



圏域7市町の
イベント情報

美祿 秋芳洞「光響 FANTASY」2025

今年も期間限定で、秋芳洞がナナイロにカラーライトアップされ、非日常的な空間を味わうことが出来ます。



▲詳細はこちら

期間 12月30日(火)～令和8年1月4日(日)

場所 秋芳洞(秋芳町秋吉3506-2)

☎ 美祿市観光協会

☎ 0837-62-0115

萩 萩城下町調査団～長州ファイブの手帳を見つけ出せ！～

宝の地図をもとに、萩城下町に点在する手がかりを集め、謎を解き、お宝を探し出すイベント(リアル宝探し)を開催します。



▲詳細はこちら

期間 12月28日(日)まで

場所 萩城下町(堀内1-1)ほか

☎ 萩市世界遺産活用推進協議会

☎ 0838-25-3654

津和野 「物語の絵本」展

絹本に日本画の技法で華やかに描いた『繪本 仮名手本忠臣蔵』を中心に展示します。臨場感あふれるタッチで描かれ、迫力を感じる作品です。



▲詳細はこちら

期間 12月12日(金)～令和8年3月11日(水)

☎ 安野光雅美術館(後田イ60-1)

☎ 0856-72-4155

山陽小野田 おのだクリスマス花火 2025

今年も「おのだクリスマス花火」を開催します！花火の打ち上げ時間は20:00～20:30を予定しています。



▲詳細はこちら

日時 12月25日(木)17時開始

場所 おのサンサッカーパーク(小野田字末広7525-17)周辺

☎ 小野田商工会議所

☎ 0836-84-4111

宇部 山口産業グループ×宇部市 presents TOKIWA ファンタジア 2025

ときわ公園の冬を彩る、中国地方でもトップクラスのイルミネーションイベントを開催します。



▲詳細はこちら

期間 11月23日(日)～令和8年1月12日(月・祝)

場所 ときわ遊園地(則貞3-4-1)

☎ ときわ公園企画課

☎ 0836-54-0551

防府 企画展「音のサイエンス展～不思議で楽しい音戯(おとぎ)の世界～」

体験・参加型の展示で構成する企画展です。音の正体を五感で感じ、音と「遊び」「語り」「発見」することで、音について楽しく学べます。



▲詳細はこちら

期間 令和8年1月12日(月・祝)まで

☎ 防府市青少年科学館ソラール(寿町6-41)

☎ 0835-26-5050



イベントカレンダー

11/28 (金) ~ 12/25 (木)

それぞれのクリスマス展

所 山口ふるさと伝承総合センター
☎ 083-928-3333

山口ふるさと伝承総合センターまなび館のマンスリー企画参加作家ほか有志によるクリスマス作品を展示します。イルミネーション点灯等も行います。

11/28 (金)

~令和8年1/12 (月・祝)

新山口イルミネーション2025

所 新山口駅北口・南口駅前広場
関 新山口イルミネーション実行委員会
☎ 083-976-8588

11/28 (金) の点灯式、12/13 (土) の「小郡がつながるクリスマスフェスタ」では楽しいイベントが盛りだくさんです。

12/13 (土)

講演会「サビエルの残影を訪ねて~日本のクリスマスは山口から~」

所 山口市菜香亭
☎ 083-934-3312

日本初のクリスマス-ミサや、山口周辺のキリシタンの足跡を紹介します。

12/25 (木)

山口きずな音楽祭 vol.10 + 7

所 山口市民会館
甲 山口市文化振興財団
☎ 083-920-6111
関 山口きずな音楽祭プロジェクト
☎ 083-929-3947

毎年恒例となったクリスマスのコンサート。今年もLE VELVETSの美しい歌声が山口のきずなを深めてくれることでしょう。

開催中のイベント

12/25 (木) まで

企画展「サビエルからの贈り物~山口に伝えたもの、遺したものの」

所 山口市菜香亭
☎ 083-934-3312

大正15年にサビエル記念碑が建立され、来年は100年にあたります。山口に来訪したサビエルと大内氏に関する歴史や関連史跡などについて紹介します。



「新たなまちづくり 3つの挑戦」

● 1 都市全体の「元気をあげる」

市民一人ひとりと、地域、事業者の皆様との活動する量や質がさらに上がるような取組を進め、トータルとしてのまちの活力や元気を高めていきます。新市のまちづくりで整えてきた「地域交流センター」や「KDDI 維新ホール」、「湯田温泉こんこんパーク」や「YCAM」、「道の駅」などの社会基盤を、皆様の活動の舞台としてもっと活用してもらえよう取組を進めていきます。また、民間のノウハウを生かした公民連携のもとで、地域の活力や経済活力の向上、公共サービスの質の向上を図り、都市全体の元気を上げていきます。

● 2 「選ばれるまちへ」

本市全体の、また21の各地域の魅力や個性をもっと引き出し、「山口を訪れたい」、「住み続けたい」と思っているまちを目指します。県都山口として教育・文化を始めとした都市機能をさらに高めていくとともに、3つの大学が立地する学都山口の人材を生かした起業創業や企業誘致、県内最大の宿泊拠点としての湯田温泉の振興、県の玄関口である新山口駅周辺のさらなる発展、農山村エリアの魅力を生かした食と農のまちづくりなどを進めていきます。

● 3 「まちをスマートに」

人口減少社会にあっても、限られた資源を最大限に生かし、デジタル技術なども柔軟に活用しながら、もっと便利で持続可能な市民サービスの提供を目指します。合併前からの重複する機能を持った公共施設や複雑な仕組みを、市民の皆様とともに見つけ直しながら再構築し、子育て世代も高齢者世代も暮らしやすい適度な生活サイズで、活力あふれるスマートなまちを目指した取組を進めていきます。

新市誕生20年を迎え、本市のまちづくりは、「合併モード」から「新たなまちづくり」のモードに入ります。これまで皆様と共に進めてきた「ずっと元気な県都山口」の実現に向け、これからの4年間も、強い使命感を持って本市のまちづくりを進めてまいります。

山口市長
伊藤和貴



市民の皆様、伊藤和貴です。先の市長選挙におきまして、2期目の市政をお預かりすることになりました。

そのために、私は左記の「3つの挑戦」に全力で取り組みます。市民を大切に、地域を大切に、これまで以上に皆様の御意見を耳を傾け、しっかりと対話をいたしながら、これらの挑戦を成し遂げてまいります。笑顔でつながる明るい未来を一緒に築いてまいります。

新たなまちづくりへ

